



うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第82号

発行日

2014年3月19日
(毎月19日刊行)

第28回 子育て支援コーナー企画展示

「春からスタート☆

～親子で正しい生活習慣を身につけよう!～

が始まりました。

期間：平成26年3月4日(火)～

平成26年6月1日(日)

新しい本が
入りました。

()内の数字は
棚の番号です

『シングルマザー生活便利帳』

新川てるえ/著
太郎次郎社エディタス/刊

2014.2

(支援1-1)

『防災ピクニックが子どもを守る!』

MAMA-PLUS G/編・著
KADOKAWA/刊

2014.2

(支援2-4)

『不登校の子どもの生活と親・教師の支援』

佐藤修策/編
あいり出版/刊

2014.1

(支援3-5)

『心に残る入学式・卒業式のあいさつ』

鳥谷朝代/監修
日本文芸社/刊

2014.1

(支援4-3)



桜の咲く頃は、入園・入学・進級シーズン。新しい生活を順調にスタートできるように、きちんとした生活習慣を身につけたいものです。

たっぷり運動、ぐっすり睡眠、早寝早起き、毎日朝ごはん。小さなお子さんの場合は、自分で着替えや排せつができるようになるなどなど。一度に全部できるようになるのは難しいですが、少しずつ、できることから、始めてみませんか。

そこで、親子で正しい生活習慣を身につけるのに役立つ本・絵本、約200冊を展示・貸出します。どうぞご利用ください!

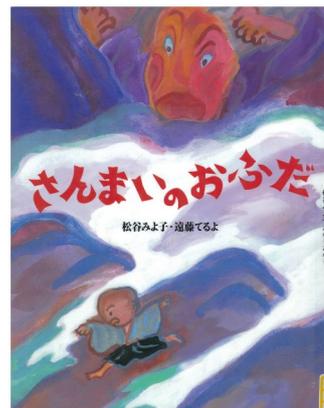
父親がはじめて読み聞かせをした日

読み聞かせをする時間は家庭によってさまざまだと思います。わが家の読み聞かせタイムは、寝る前でした。家族4人、川の字になってふとんに入り読みます。普段は、母親の私が読み聞かせをしていました。

ある日、ふいに夫が「今日は、俺が読み聞かせをしようかな」と言い、選んだのは、日本の昔話『さんまいのおふだ』でした。和尚さんが止めるのも聞かずばあさまの家に遊びに行った小僧は、夜中に目を覚ますとばあさまが包丁をといでいて、やまんばがばあさまに化けていたとわかります。やまんばの「みたか、みたな、こぞう」と聞こえた途端、3歳の息子は、「もう、ええけん」といってふとんにもぐりこんでしまいました。しかし、夫はおかまいなしに読み続けます。そして「こぞう、にげたな」と聞こえた時、息子はふとんから顔だけだして、目をぱちくりとさせて聞き入りました。その後、小僧がやまんばにつかまりそうになるたびに、息子はふとんにもぐりこみ、しばらくすると顔を出し、というこを何度か繰り返し、ようやく最後までたどりついたのです。

その夜から、たまに夫が読み聞かせをするようになりました。夫が選ぶ絵本は、『ふるやのもり』、『舟幽霊』、『くわずにようぼう』、『じごくのそうべえ』、『エルマーのぼうけん』、『注文の多い料理店』など、なぜか「ちょっぴり怖い系」でした。臨場感のある夫の読み聞かせを息子は嫌がるかと思えば、『さんまいのおふだ』同様、怖い場面がくるとふとんにもぐりこみ、過ぎるとふとんから顔をだし聞き入るを繰り返し、夫が「おしまい」というまで聞くのでした。

あれから20年。先日、息子のお気に入りの絵本はなんだろうと思い聞いたところ、「『さんまいのおふだ』が嫌い。」と即答でした。私は、好きな絵本を聞いたんですけどね。どうやら息子にとっては、忘れられない絵本になったようです。(Y)



松谷みよ子／作
遠藤てるよ／絵 童心社

お引越しがきましたら



貸出カードをお持ちの皆様へ

進学、異動等で住所、電話番号などの変更はありませんか？

香川県立図書館では、ご登録いただいている内容に変更がありましたら、変更届の提出をお願いしています。

ご来館の際、1階「案内・登録」カウンターまでお申し出ください。よろしくお願いいたします。

編集後記 2月の終わり頃から、お弁当の本が大人気です。お別れ遠足や4月からの練習のためでしょうか。最近、子育て支援コーナーに仲間入りした、長谷川りえさんの『園児弁当』（柘出版社）は、いわゆる「キャラ弁」の本ですが、レシピが簡単なのに見た目がかわいらしくて、オススメですよ。(T)